



自民党・無所属 大阪府議団だより

は ら だ

原田こうじ 議員が府議会で一般質問

原田こうじ議員は10月5日に開かれた府議会の本会議で一般質問に立ち、東京2020オリンピック・パラリンピックへの取り組みや子どもの貧困対策、ヘルプマークの普及啓発についてなどを質問しました。

プロフィール

池田市選出

昭和55年9月5日生まれ。大教大附属池田小学校、大教大附属池田中学校、関西大倉高校、甲南大学法学部卒業。(株)NEXYZ勤務を経て、衆議院議員 原田けんじ 秘書。平成27年4月より大阪府議会議員(1期目)。健康福祉常任委員会委員。

東京2020オリンピック・パラリンピック 池田市がロシアのホストタウンに登録されました

東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた府の取り組み状況は?

Q. 原田議員 東京2020オリンピック・パラリンピックを大阪が世界から注目を集める絶好の機会と捉え、大阪の魅力発信を強化するとともに、府民のスポーツ振興の機運醸成に繋げていく必要がある。また、地元・池田市がロシアのホストタウンに登録され、府内各地でも様々な競技のホストタウンが決まるなど盛り上がり期待されるが、現在の府の取り組み状況はどうか。

A. 府民文化部長 今年度は府内公共施設を中心にフラッグツアー等を実施するほか、小学校等へのオリンピック・パラリンピアンへの派遣事業やホストタウンの登録に対する市町村への支援などに取り組んでいます。聖火リレーについて大阪は2020年4月14日、15日の実施となっており、「東京2020オリンピック聖火リレー大阪府実行委員会」を設置し、組織委員会と協議、調整に入りました。

8ch 関西テレビ 毎週日曜日午後2:54~
「NMBの教えて!大阪府議会」放送中

最終回12月23日(日)午後2:54~に
原田こうじ議員 出演決定!!



ぜひご覧ください!!

【出演】
原田こうじ議員
NMB48 ほか

~より開かれた大阪府議会をめざして~

ヘルプマーク 多くの啓発機会が必要 ヘルプマークの普及啓発

Q. 原田議員 援助や配慮を必要とする方々が、周囲の方にそれを知らせる「ヘルプマーク」について。マークを使用されるご本人はもちろん、周囲の方にその趣旨を理解していただき、思いやりのある行動につなげることが重要だ。そのために民間事業者等の協力を得、より多くの啓発機会の創出が必要と考えるが、府の取り組みは。

A. 福祉部長 具体的には、公共交通機関や府包括連携協定締結企業など事業者等において、ポスターの掲示等による啓発にご協力をいただいています。近畿2府5県全てでヘルプマークの配布が始まったことから、近畿府県で連携した啓発を進め、公共交通機関にさらなる協力を合同で働きかけ、今後も様々な方面から啓発に努めてまいります。

原田議員 要望 スピード感を持った普及啓発活動でマークの認知度向上を!

ヘルプマークは「支援を必要としていることを知らせる効果」とそれを見た方に「支援を促す効果」があることから、より多くの府民の方にマークについて知っていただくことが重要。近畿府県での連携は順次ではなく、スピード感を持って、認知度向上に向けての普及啓発を要望する。



子どもの貧困対策 子どもの未来応援ネットワークモデル事業

Q. 原田議員 「子どもの未来応援ネットワークモデル事業」は、貧困世帯の課題を抱える子どもや保護者を早い段階で発見して支援につなぎ、見守るネットワークの構築をめざして門真市との連携で実施したものの、こうしたネットワークを府内全域に進めることは大事だが、この役割は市町村が担うところが大きい。府の本モデル事業実施のねらい、必要性を問う。

A. 福祉部長 市町村の取り組みを後押しする観点から「モデル事業」を実施したが、関係者間での個人情報共有など、子どもを支援するにあたって共通の課題について、他の市町村のモデルとなる取り組み事例を得ることができました。

セーフティネットを府内に広げよ

Q. 原田議員 地域でのセーフティネット構築の取り組みを府内全域に広げていくのが府の役割。今後、モデル事業における課題への対応方法や成果について、他の市町村としっかりと共有し、働きかけていくことが重要と考える。

A. 福祉部長 今年度創設した「子どもの貧困緊急対策事業費補助金」の活用も含め、府内全域への取り組みの拡大に努めております。

国道423号の改良・整備が不可欠 必要性高まる 伏尾バイパスの今後の見通しは??

Q. 原田議員 国道423号は大阪市から私の地元の池田市を経て京都府亀岡市を結ぶ幹線道路であるが、広域緊急交通路にもかかわらず、ダンプが中央線を大きくはみ出したり、狭隘区間解消のために計画された伏尾バイパスは事業休止のまま。周辺地域では新名神高速の箕面とどろみICが開通、国道423号沿いの細河エリア(池田市)では企業誘致の検討など状況は変化してきており、伏尾バイパスの必要性は高まるが、整備や今後の見通しはどうか。

A. 都市整備部長 国道423号の池田市伏尾町から豊能町川尻までの区間のうち、8箇所の急カーブや狭隘箇所について線形改良や拡幅工事を実施しており、早期完成をめざし工事を進めています。伏尾バイパス事業は新名神高速道路の全線開通や箕面森町の企業進出に伴う交通状況の変化を見極めながら、コスト削減などの観点から現道拡幅などの代替案も含め、検討を進めます。